

## &lt;別紙1&gt;

## 第三者評価結果報告書

## ①第三者評価機関名

株式会社ケアシステムズ

## ②施設・事業所情報

名称：にじいろ保育園塚越	種別：保育所
代表者氏名：森 匡子	定員（利用人数）： 90名
所在地：〒212-0024 川崎市幸区塚越4-345-11	
TEL：044-555-0553	ホームページ：https://www.like-kn.co.jp/
【施設・事業所の概要】	
開設年月日：昭和53年2月1日	
経営法人・設置主体（法人名等）：ライクアカデミー株式会社	
職員数	常勤職員： 16名 非常勤職員 8名
専門職員	看護師 1名 栄養士 1名
	管理栄養士 1名
施設・設備 の概要	（居室数）
	7（保育室・沐浴室・事務室・面談室・給食室）
	（設備等）
	屋外プール・テラス（屋上遊戯場）・園庭

## ③理念・基本方針

*保育理念	のびやかに育て だいちの芽
*保育方針	みとめ愛・みつめ愛・ひびき愛
*保育目標	自然を愛し、心身共に健やかな子ども 自分で考えて行動し、意欲と根気のある子ども 「仲間」と関わり、人を思いやれる子ども 自己を表現できる子ども
*令和3年度園保育方針	（乳児）安心して過ごせる環境の中で「やってみよう」と思える子どもを育てる （幼児）子どもたちの主体性を引き出し、ひとり一人を認め合える人間関係作りを目指す

## ④施設・事業所の特徴的な取組

<ul style="list-style-type: none"> <li>身近な恵まれた自然環境を活かした保育</li> <li>戸外遊びを十分に取り入れた保育</li> <li>日常生活や遊びの中での子ども同士の関わりを通した自然な異年齢児とのかかわりを大切にしたい保育</li> <li>幼児クラスにおいては、縦割りグループを継続的に構成し、意図的な異年齢交流を取り入れた保育</li> <li>地域の中での保育園としての長い歴史を土台とした、地域とのかかわりを大切にしたい保育</li> </ul>
--

## ⑤第三者評価の受審状況

評価実施期間	2021年5月28日（契約日） ～ 2022年1月18日（評価結果確定日）
受審回数（前回の受審時期）	3回（2019年度）

## ⑥総評

### ◇特に評価の高い点

#### 自己表現を楽しみ、さまざまな活動を経験できるよう保育を計画的に進めている

園の保育目標である「自分で考え行動し意欲と根気のある子ども」のもと、子どもたちが自己表現を十分に楽しみ、さまざまな活動を経験できるよう日々の保育を計画的に進めている。園庭や園周辺の多くの公園を活用した保育を展開し、隣接の公園は園敷地より直接行けるようになっている。園庭にはすべり台・鉄棒・砂場があり、2階のベランダにも遊具を配置し、広いスペースで子どもが自発的に活動できる場を設けている。段差やフラフープを使って日常では使わない動きを遊びに取り入れ、体力作りなど活発に体を動かした活動を意図的に実施している。

#### 長い運営実績を誇り、地域の中核的保育園としての役割を担っている

昭和53年に公営保育園として開園後、平成29年から「ライクアカデミー株式会社・にじいろ保育園塚越」として運営している歴史のある保育園である。これまで培われてきた地域との関係に加え、法人の理念や保育方針を融合させている。園長は保育士として当該園に入職し、主任を経て現職を担っており、人的な関係も含めて地域社会との深い絆のもとに園運営をリードしながらリーダーシップを発揮している。コロナ収束の折には、休止している地域と様々な取り組みを復活させ、地域の中核的な保育園としての役割を充実させることを目指している。

#### 職員一人ひとりの得意なことや経験、職種の特性を尊重しながら保育に取り組めるようにしている

現在勤務している常勤・非常勤職員合わせて24名の保育士は、年齢幅があることに加え様々な保育観をもつ保育者、男性保育士、様々な経歴を持つ職員など多様な構成になっている。各々の得意なことや経験、職種の特性を尊重しながら保育を進めようとしている。また、用務職が独立しており、日々清潔で安全な環境を維持することに取り組んでいる。さらに、法人内研修や地域で開催される研修に加え、AED（心肺蘇生）・緊急時対応（水遊び時など）・リトミック・事故の振り返りなどをテーマとした園内研修を実施して、資質やスキル向上にも力を入れている。

### ◇改善を求められる点

#### 保護者とのコミュニケーションや信頼関係の更なる構築が期待される

日々の登降園時には保護者と保護者が安心して子育てができるよう、連絡帳アプリ（ナナポケ）だけでなく、口頭でのやりとりで子どもの生活の様子やエピソードを伝えている。また、個人面談の機会を設けて、保護者との相談や情報共有の場としている。相談内容によっては、すぐに回答できない内容についてはリーダー職や園長に確認して後日回答することとしている。今後はさらに相談を受けた職員が適切に対応できるよう研修や指導が期待される。

#### 園舎の改修計画を、さらにスピードアップすることが求められる

開業以来36年が経過しており、園舎などの経年変化は否めない。民営化に伴って園舎のリフォームを実施し、明るい木のぬくもりのある園舎に改装している。木々に囲まれた園庭には遊具を設置せず、からだを動かして遊べる環境作りにも力を入れている。また、民営化の際には大規模改修工事を実施しているが、園舎自体が経年劣化による修繕を要する箇所が多く、安全な環境の維持に労力を要することも課題としている。中長期事業計画に明示している改修計画を、さらにスピードアップすることが求められる。

#### タイトな人員体制を改善することを課題としている

タイトな人員体制であることは否めないことを踏まえ、就業を継続させるために職員間で職場環境について討議する機会を設けている。経験の少ない職員が安心して保育に取り組めるように「サポートシステム」と「OJTの手法」を充実させた人材育成に力を入れている。また、職員採用実務は本部の人事担当が担っているため、担当SVと密な連携を図り迅速な対応が必要になってくる。コロナ禍においてはオンラインや動画視聴での学びの機会を維持確保しているが、コロナ収束後の外部研修への参加や園内研修を充実させることも含めて、早期の改善を必要としている。

#### ⑦第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

・第三者評価の受審を通して、園運営についての振り返りをするきっかけとなりました。園運営の中で評価していただいたことは、継続的に且つ状況に合わせた臨機応変な対応をしてみたいと考えております。またコロナ禍であることを言い訳にせず、現状の中でできることや創意工夫により実現できることをより具体化し、引き続き子どもたちの成長を援助していければと思います。

#### ⑧第三者評価結果

別紙2のとおり